

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準(考え方)	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<p>●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価</p> <p>目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m 程度</p>	<p>●大景観と調和しているか(地域の景観の特徴との関係)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。 	① 位置	—	現況調査結果より遠景からは計画建物が見えないため、シミュレーションは不要とした。
			② 規模	—	同上
			③ スカイライン	—	同上
中景	<p>●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価</p> <p>目安 100~500m程度</p>	<p>●中景観と調和しているか(周辺景観とのバランス)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。 	① 基調色	○	道路側は木色をベースとした落ち着きのある外壁色とすることで、周辺環境と調和させている。
			② おおまかな形状	○	階数を抑え、外壁面を湾曲させることで、海への視線を極力遮らないように計画している。
			③ 主要な付属物 (屋上設備 屋上階段 ベランダ等)	○	屋上設備は目隠し壁で隠すため雑然としていない。
			④ 特殊な材料 (金属やモードなど)	○	特殊な材料の使用はない。
近景	<p>●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価</p> <p>(目安 50m程度)</p>	<p>●小景観と調和しているか(通りの雰囲気と建物のデザインとの関係)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適切なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性(交差点に面するなど)に配慮しているか。 	① 壁面意匠 (ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備)	○	バルコニー出・庇により奥行感のある落ち着いたデザインとしている。木を連想する茶系統の色彩で設えた外壁、ルーバー、バルコニーデザインとしている。
			③ 看板類	○	外壁ホテルサインは、視認できる最小限のサイズで計画している。(ホテルブランド未定)
			④ アクセントカラー	○	チャペルにおいてステンドグラスを用いるが各面に対し1/20以下の面積に抑えた。
			⑤ 低層部の雰囲気	○	周囲との調和に配慮し、木色をベースとした落ち着きのある色調としている。
			⑥ 敷地利用 (緑化など)	○	建物と周辺道路との距離を十分に確保し、緑を配置することで周辺環境との調和を図る。
			⑦ 低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	アプローチに植栽を配置し、落ち着きのあるホテルエントランスのしつらえとしている。
点地	●周辺の公共空間(前面道路の歩道など)との関係がわかる距離 ↓	●前面の公共空間と調和しているか(道路際の雰囲気)。			

	<p>道路際の造作を評価 (目安 10m前後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。 	<p>②敷際のデザイン</p> <p>〔敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど〕</p>	○	敷地境界を緑化することで、駐車場が直接的に視認しにくよう計画している。
--	---	--	---	-------------------------------------